

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

1 概況

(1) 指定管理事業(延べ人数)

項 目	単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
友愛のさと診療所	人	26,165	25,053	24,980	28,518	113.8%
療育センター	人	6,111	7,681	4,075	3,850	50.1%
子どものこころの診療所	人	—	2,661	6,739	11,337	426.0%
児童発達支援センター「ひまわり」	人	10,539	13,411	18,540	18,578	138.5%
生活介護・就労継続支援施設「かがやき」	人	11,666	11,586	12,345	12,633	109.0%
就労継続支援施設「はばたき」	人	3,874	3,745	4,530	3,918	104.6%
障害者生活介護施設「ふれんず」	人	4,608	4,759	5,005	5,060	106.3%
身体障害者福祉センター	人	2,178	1,954	2,417	1,923	98.4%
障害者体育館・プール	人	13,466	18,506	17,800	20,110	108.7%
福祉バス	人	1,979	2,201	—	2,438	110.8%
相談支援事業所「シグナル」	人	3,623	3,145	3,631	6,445	204.9%
合 計	人	84,209	94,702	100,062	114,810	121.2%
指 定 管 理 料 収 入	円	449,286,000	433,808,000	368,394,000	368,394,000	84.9%
利 用 料 金 収 入	円	378,560,501	439,067,051	549,065,000	639,002,105	145.5%

(2) 受託事業

項 目	単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
地域活動支援センター「オルゴール」	延 べ 人 数	人	3,308	3,401	3,571	3,582	105.3%
浜松市発達支援広場(浜北・天竜区)	組 数	人	560	821	—	754	91.8%
浜松市発達支援広場(中区)	組 数	人	583	811	—	703	86.7%
浜松市発達支援広場(施設型)	組 数	人	—	3,484	3,600	2,886	—
浜松市日中一時支援事業	延 べ 人 数	人	—	—	—	209	—
発達相談支援センター「ルピロ」	支 援 件 数	件	2,211	2,444	1,850	3,395	138.9%

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

2 友愛のさと診療所・療育センター

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
診療実人数		人	2,197	2,601	—	2,690	103.4%	
新患患者数		人	509	677	600	600	88.6%	
診 療 科 別	精神科	診療実日数	日	243	244	245	245	100.4%
		診療延べ人数	人	13,113	13,562	13,590	16,095	118.7%
		1日平均	人	54.0	55.6	55.5	65.7	
	小児科	診療実日数	日	243	244	245	245	100.4%
		診療延べ人数	人	12,428	10,761	10,700	11,641	108.2%
		1日平均	人	51.1	44.1	43.7	47.5	
	整形外科	診療実日数	日	19	23	24	23	100.0%
		診療延べ人数	人	218	242	240	298	123.1%
		1日平均	人	11.5	10.5	10.0	13.0	
	耳鼻咽喉科	診療実日数	日	18	20	23	23	115.0%
		診療延べ人数	人	109	125	140	103	82.4%
		1日平均	人	6.1	6.3	6.1	4.5	
	眼科	診療実日数	日	21	24	24	31	129.2%
		診療延べ人数	人	297	363	310	381	105.0%
		1日平均	人	14.1	15.1	12.9	12.3	
合 計		診療延べ人数	人	26,165	25,053	24,980	28,518	113.8%
利用料金（医業収入）		円	131,533,257	143,838,644	141,792,000	163,237,765	113.5%	
1人あたりの平均単価		円	5,027	5,741	5,676	5,724		

投薬	処方箋による調剤	院 内	枚	54	81	50	110	135.8%
		院 外	枚	4,352	4,284	4,300	4,521	105.5%
合 計		処方枚数	枚	4,406	4,365	4,350	4,631	106.1%

各 種 検 査	X線検査	延べ件数	件	174	118	160	125	105.9%
	血液検査	延べ件数	件	115	164	120	190	115.9%
	尿検査	延べ件数	件	20	17	20	45	264.7%
	聴力検査	延べ件数	件	17	32	10	25	78.1%
	言語発達検査	延べ件数	件	—	—	120	61	—
	脳波検査	延べ件数	件	132	104	120	86	82.7%
	腹部超音波検査	延べ件数	件	2	2	10	3	150.0%
	聴性脳幹反応検査	延べ件数	件	38	24	40	21	87.5%
合 計			件	498	461	600	556	120.6%

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
個別指導	理学療法	訓練実日数	日	243	244	245	245	100.4%
		実人数	人	152	157	—	216	137.6%
		延べ人数	人	2,824	3,516	3,420	3,801	108.1%
		1日平均	人	11.6	14.4	14.0	15.5	
	作業療法	訓練実日数	日	243	242	245	245	101.2%
		実人数	人	224	325	—	377	116.0%
		延べ人数	人	1,877	2,813	3,000	3,450	122.6%
		1日平均	人	7.7	11.6	12.2	14.1	
	言語聴覚療法	訓練実日数	日	240	244	245	245	100.4%
		実人数	人	311	407	—	335	82.3%
		延べ人数	人	1,707	2,387	2,340	2,024	84.8%
		1日平均	人	7.1	9.8	9.6	8.3	
視能訓練	訓練実日数	日	68	48	150	216	450.0%	
	実人数	人	166	194	—	206	106.2%	
	延べ人数	人	279	234	280	522	223.1%	
	1日平均	人	4.1	4.9	1.9	2.4		
臨床心理	訓練実日数	日	243	244	245	245	100.4%	
	実人数	人	1,458	1,637	—	1,686	103.0%	
	延べ人数	人	8,457	8,796	8,400	9,640	109.6%	
	1日平均	人	34.8	36.0	34.3	39.3		
合 計		実人数	人	2,311	2,720	—	2,820	103.7%
		延べ人数	人	15,144	17,746	17,440	19,437	109.5%

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
集団	早期支援グループ	実施回数	回	75	81	83	76	93.8%
		延べ人数	人	282	485	451	300	61.9%
		1回平均	人	3.8	6.0	5.4	3.9	65.0%
指	心理支援グループ	実施回数	回	67	71	121	107	150.7%
		延べ人数	人	505	510	900	791	155.1%
		1回平均	人	7.5	7.2	7.4	7.4	102.8%
導	ピアグループ	実施回数	回	43	45	44	41	91.1%
		延べ人数	人	226	321	352	313	97.5%
		1回平均	人	5.3	7.1	8.0	7.6	107.0%
導	学童期吃音児への小集団支援	実施回数	回	—	—	7	7	—
		延べ人数	人	—	—	70	31	—
		1回平均	人	—	—	10.0	4.4	—
合 計		延べ人数	人	1,013	1,316	1,773	1,435	109.0%

新患者数については、8月の医師異動に伴う引き継ぎ期間に新患受け入れ数が減少したこと及び子どものこころの診療所の稼働により、23年度実績より減少しましたが、計画通りとなりました。

平成24年度は、4月より訓練・指導の充実を図るため、個別指導の受入枠の拡充(リハビリ部門9枠→10枠、心理部門7枠→9枠)を行い、作業療法士・臨床心理士の増員もあり、診療延べ人数は増加しています。理学療法士による呼吸理学療法の実施、作業療法士による感覚統合訓練の充実、言語聴覚士による吃音グループの開始、臨床心理士によるペアレント・トレーニングの開始等、それぞれの専門性ある療育指導を積極的に提供しました。視能訓練は、常勤職員が育児休業より復帰し延べ人数が増加しています。

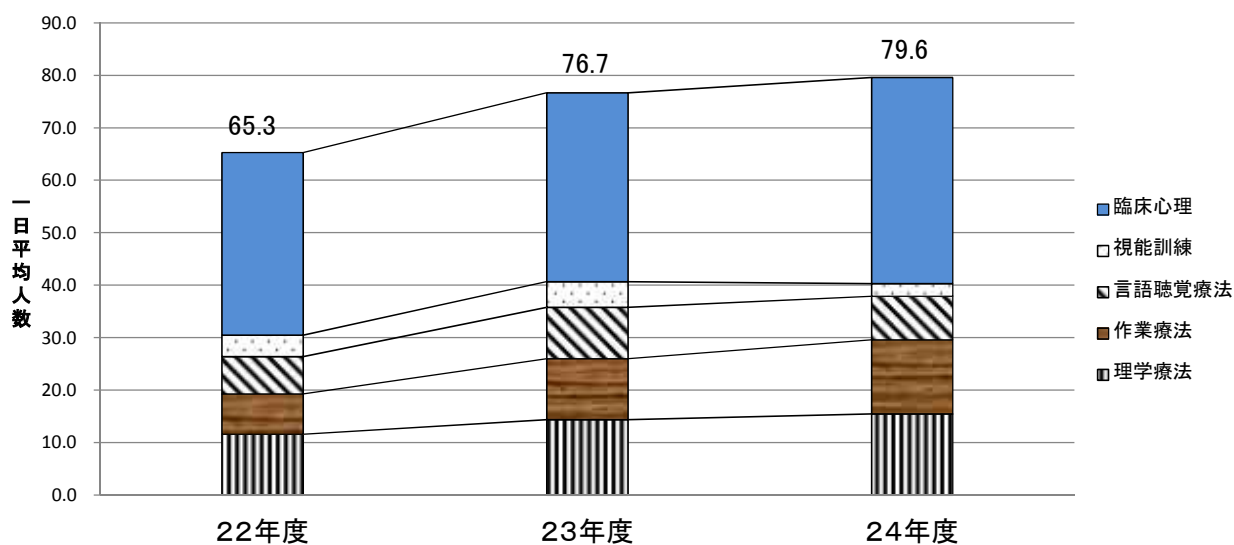
平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

項 目			単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
地域 障がい児等 支援事業	訪問療育指導	集団	実施回数	1	1	6	5	500.0%
			延べ人数	1	1	6	13	1300.0%
	教育機関への支援 <small>※教育委員会との発達教育研修を含む</small>	個別	延べ人数	259	348	200	289	83.0%
		集団	実施回数	9	36	16	22	61.1%
			延べ人数	60	290	20	196	67.6%
特別支援学校及び療育施設への支援	個別	延べ人数	67	44	95	33	75.0%	
		実施回数	75	76	115	121	159.2%	
	集団	延べ人数	536	435	644	786	180.7%	
その他の保健・福祉機関との連携			実施回数	6	4	11	13	325.0%
			延べ人数	37	9	60	98	1088.9%
児童発達支援センター「ひまわり」親子通園部保護者とのグループワーク			実施回数	120	126	100	111	88.1%
			延べ人数	936	1,149	800	1,042	90.7%
おもちゃ図書館	おもちゃ図書館	開催回数	44	42	44	14	33.3%	
		延べ人数	1,647	1,364	1,500	433	31.7%	
	おもちゃ貸出	開催回数	44	42	44	13	31.0%	
		延べ人数	247	124	250	121	97.6%	
	プレイポート開放プレイポート貸出		延べ人数	243	680	100	653	96.0%
	おもちゃ図書館個別相談		延べ人数	237	189	200	18	9.5%
	はらぺこの日グループ指導	開催回数	12	12	11	14	116.7%	
		延べ人数	221	243	200	168	69.1%	
合 計			延べ人数	4,491	4,876	4,075	3,850	79.0%

「地域の子ども達によりよいサポートを得るために」地域支援の強化、地域連携の拡充に取り組みました。特別支援学校訪問指導、園訪問支援事業、学校・園との連携、病院との連携のため積極的にスタッフを派遣したり、西部小児リハビリテーション勉強会の充実を図りました。また、児童発達支援センターひまわりに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が毎日指導に入り、言語聴覚士は摂食機能療法に積極的に取り組みました。おもちゃ図書館は、ひまわりの親子通園部事業に人材を振り分けたことにより、開催頻度を月に1度に減らしたため、利用者延べ人数に大きく影響しました。

友愛のさと診療所個別指導1日平均人数の推移



平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

3 子どものこころの診療所

(平成23年9月20日診療開始)

項目		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比
診療実人数		人	—	536	—	828	154.5%
新患患者数		人	—	536	514	755	140.9%
友愛のさと診療所からの転院を除く新患件数		件	—	211	288	521	246.9%
精神科	診療実日数	日	—	128	245	245	191.4%
	診療延べ人数	人	—	2,661	6,739	11,337	426.0%
	1日平均	人	—	20.8	27.5	46.3	222.6%
利用料金(医業収入)		円	—	19,274,457	40,257,000	74,316,098	385.6%
1人あたりの平均単価		円	—	7,243	5,974	6,555	90.5%
投薬	処方箋による調剤	院内 枚	—	89	200	85	95.5%
		院外 枚	—	1,089	3,000	4,325	397.2%
合計		処方枚数 枚	—	1,178	3,200	4,410	374.4%
個別指導	言語聴覚療法	訓練実日数 日	—	—	245	228	—
		延べ人数 人	—	—	1,403	1,624	—
		1日平均 人	—	—	5.7	7.1	—
	臨床心理	訓練実日数 日	—	128	245	245	191.4%
		延べ人数 人	—	924	2,130	2,930	317.1%
		1日平均 人	—	7.2	8.7	12.0	166.2%
集団指導 (ペアレント・トレーニング)	実施回数 回	—	67	144	465	694.0%	
	延べ人数 人	—	270	648	1,058	391.9%	
	1回平均 人	—	4.0	4.5	2.3	57.1%	
インタビュー面接		件	—	213	514	521	244.6%

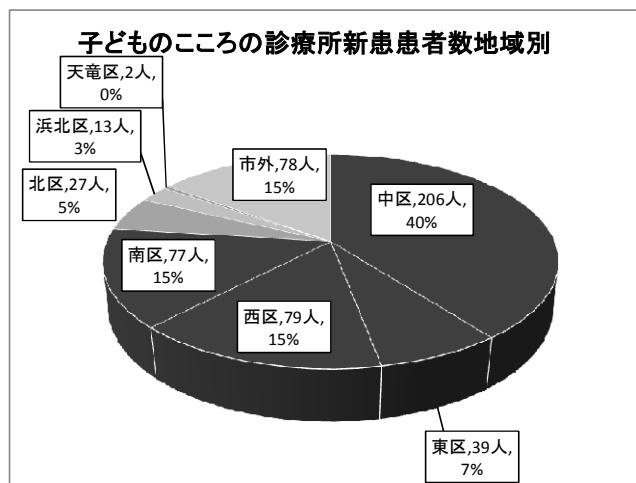
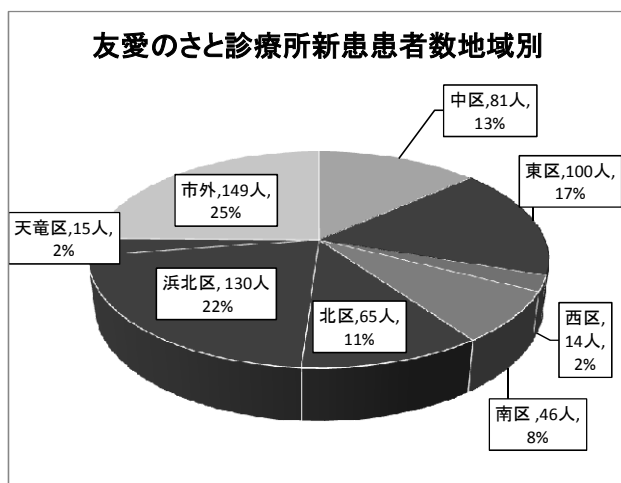
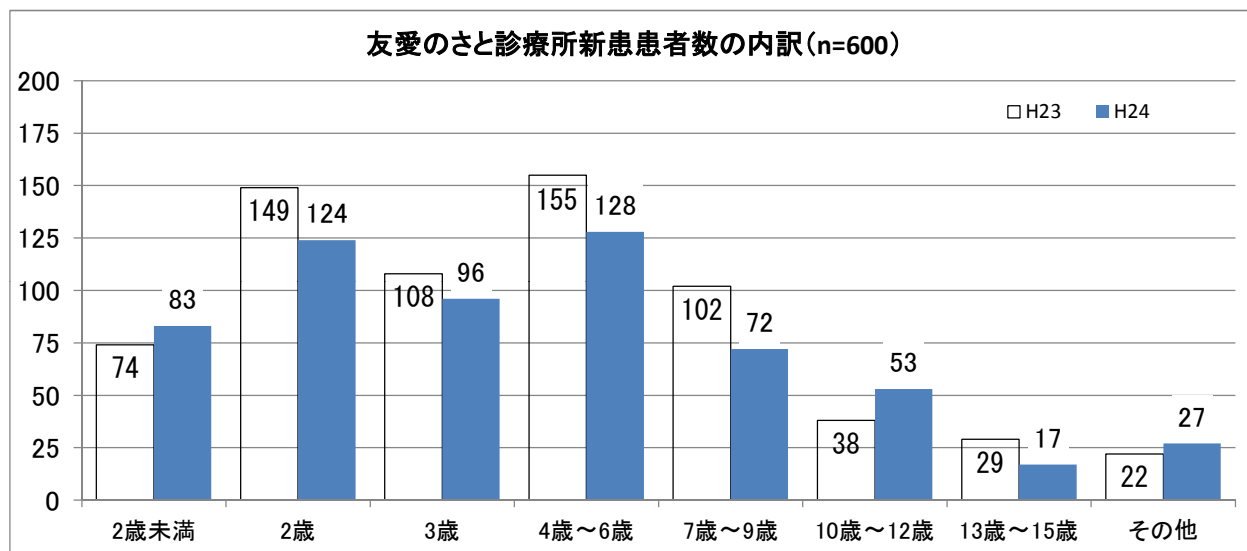
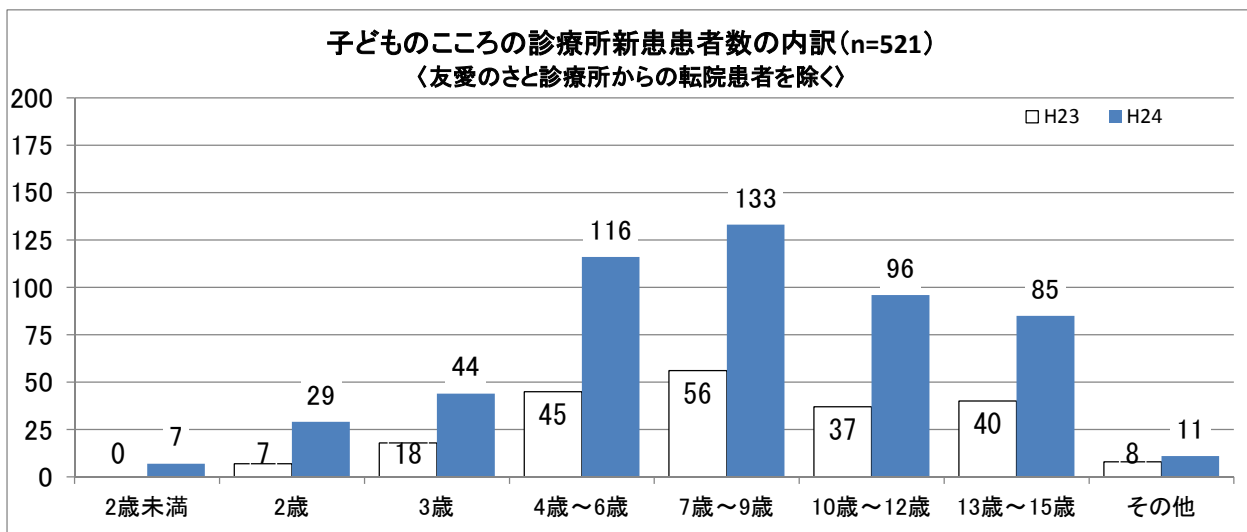
診療件数(延べ患者数)については、平成23年度実績(12か月に換算して)と平成24年度実績を比較すると、前年度に比べ約210%、1日平均患者数も2.2倍と増加しています。24年度より開始した言語療法は、同年度上半期と比較して同じ水準であり、ほぼ計画件数とおりとなっています。個別心理は、23年度実績を12か月に換算して比較した比率は、約150%となり大幅に増加しています。ペアレント・トレーニングの実施回数は、23年度実績の4倍であり、延べ人数も2倍以上となっています。受診患者の傾向は、児童相談所が関わっている重いケースについては、前年度同様に多くなっており、年齢的には、小学校中学年がピークとなる正規分布となっています。

地域別では、中区・東区・西区・南区で約4分の3を占め、前年度と同じ傾向となっています。

友愛のさと診療所と子どものこころの診療所の受診患者が、それぞれの居住地域に近い診療所を受診している傾向がみられます。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日



平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

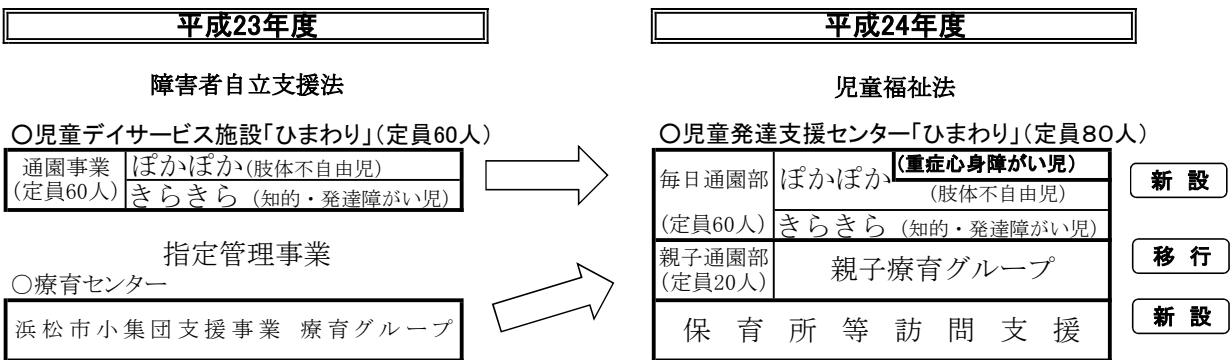
4 児童発達支援センター「ひまわり」

【根拠法令等：児童福祉法第43条第1号】

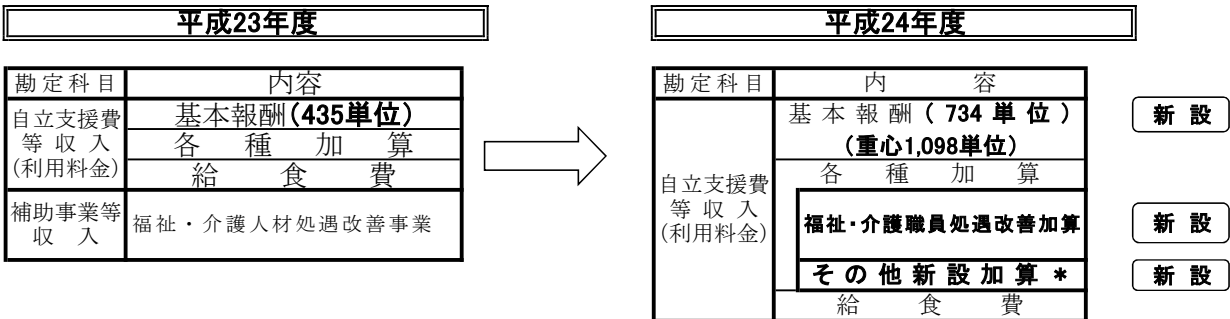
		定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	事業所管理者	児童発達支援管理責任者	計
毎日通園部	重症心身障がい児	10	4:1	3:1	4	1	1	6
	身体・知的・発達障がい児	50	4:1	4:1 (身体は3:1)	18	兼務	1	19
親子通園部	20	6						
合計		80	—	—	28	1	2	31

※ 毎日通園部は、年齢、障がい程度、発達状況に応じて「きらきら」(知的障がい児・発達障がい児)6クラス、「ぼかぼか」(重症心身障がい児・身体障がい児)3クラスで編成した。

◇ 平成24年4月児童福祉法の改正に伴う事業移行



◇ 平成24年度障害福祉サービス等の報酬改定による収入構造の変化(障がい児)



※ 従前の送迎加算と指導員加配加算は基本報酬に含まれる。

- * その他新設加算
- 児童発達支援管理責任者専任加算
 - 特別支援加算
 - 栄養士加算
 - 食事提供体制加算

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

《全体》

項目		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)*	定員	人	40	60	80	80	133.3%
	開所日数	日	227	226	229	229	101.3%
	契約者数	人	54	73	—	208	284.9%
	延べ人数	人	10,539	13,411	18,540	18,578	138.5%
	1日平均	人	46.4	59.3	81.0	81.1	136.8%
	稼働率	%	116.1	98.9	101.2	101.4	102.5%
自主事業※ 児童発達支援◇	開所日数	日	28	32	—	10	—
	契約者数	人	32	62	—	43	—
	延べ人数	人	183	390	—	164	—
	1日平均	人	6.5	12.2	—	16.4	—
利用料金(自立支援費等収入)		円	67,589,804	88,413,040	151,244,000	178,464,891	201.9%
1人あたりの平均単価		円	6,304	6,406	8,158	9,606	—

◇ 平成23年度では児童デイサービス事業にて実施

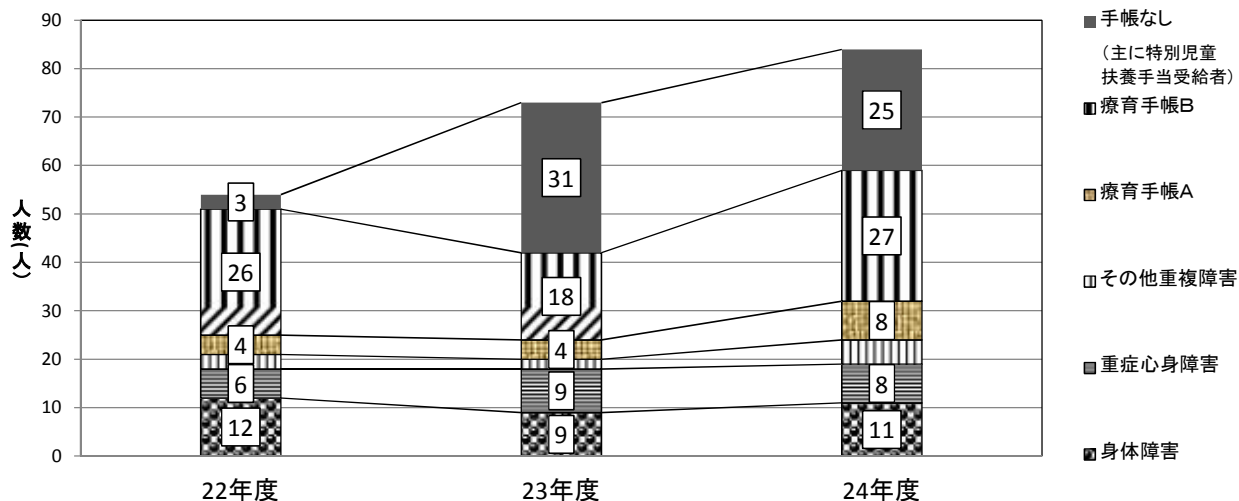
※自主事業では、夏休み事業「すずらん」、併行通園児療育支援事業「ちゅーりっぷ組」(平成23年度まで実施)

《毎日通園部》

項目		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比	
施設利用状況 (児童発達支援)	定員	人	40	60	60	60	100.0%	
	開所日数	日	227	226	229	229	101.3%	
	契約者数	人	54	73	—	84	115.1%	
	延べ人数	人	10,539	13,411	15,800	16,193	120.7%	
	1日平均	人	46.4	59.3	69.0	70.7	—	
	稼働率	%	116.1	98.9	101.2	117.9	119.2%	
自主事業 夏休み事業 「すずらん」 利用状況	在園児 (児童発達支援)	開所日数	日	—	10	—	10	100.0%
		契約者数	人	—	32	—	43	134.4%
		延べ人数	人	—	142	—	164	115.5%
		1日平均	人	—	14.2	—	16.4	—
	卒園児※ (日中一時支援)	開所日数	日	10	10	—	10	100.0%
		契約者数	人	28	22	—	29	131.8%
		延べ人数	人	137	154	—	209	135.7%
		1日平均	人	13.7	15.4	—	20.9	—

※平成24年度より、夏休み事業「すずらん」の卒園児について、浜松市日中一時支援事業を受託して事業を実施。

「ひまわり」毎日通園部利用児の推移(障がい別)



平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

○ ぽかぽか(重症心身障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	0	3	1	5	0	0	0	2	1	0	0	12
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性別	男	女		
	0	7	0	5					6	6		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	10	2	0	0	0	8	0	0	0	0	8	0

○ ぽかぽか(身体障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	5	2	2	0	1	2	2	0	0	0	0	14
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性別	男	女		
	0	4	6	4					7	7		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	9	3	0	0	0	4	2	0	0	0	5	1

○ きらきら(知的、発達障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	21	9	3	6	3	14	1	0	1	0	0	58
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性別	男	女		
	7	25	18	8					46	12		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	8	26	0	0	0	0	24

○ 利用児の入園経路の状況

	発達支援広場		早期支援G	早期支援G	療育G	療育G	幼稚園	幼稚園	保育園	保育園	その他 (在宅等)	合計
	センター型	施設型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐま	公立	私立	公立	私立		
ぽかぽか 重症心身障がい児	0	0	0	5	0	4	0	0	0	0	3	12
ぽかぽか 身体障がい児	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	6	14
きらきら	1	36	0	0	0	1	1	4	0	4	11	58
合計	1	36	0	5	0	9	1	4	0	8	20	84

※ 発達支援広場(施設型)には、前身である療育センターの発達支援グループ事業利用者を含む。

○ 卒・退園児の進路の状況

	就学			一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行				その他 (海外転居等)	合計
	特別支援学校	特別支援学級	普通級	幼稚園		保育園			
				公立	私立	公立	私立		
ぽかぽか 重症心身障がい児	5	0	0	0	0	0	0	1	6
ぽかぽか 身体障がい児	4	0	0	0	0	0	0	0	4
きらきら	6	2	0	4	6	0	3	2	23
合計	15	2	0	4	6	0	3	3	33

※ 平成24年4月1日から平成25年3月31日までの進路の状況を表しています。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

《親子通園部》

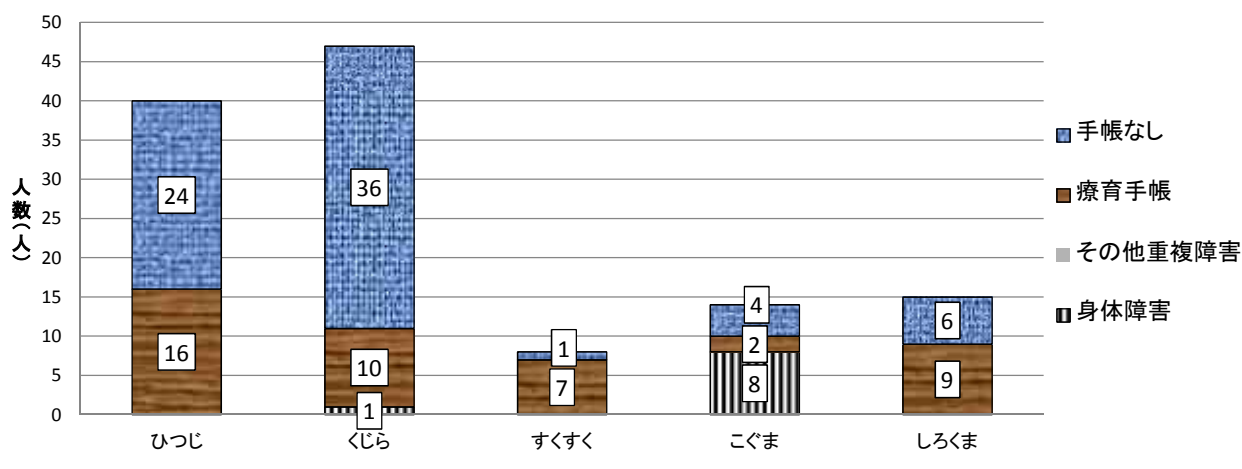
項目	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定員	人	—	—	20	—
	開所日数	日	—	—	220	—
	契約者数	人	72	112	—	110.7%
	実施回数	回	204	243	274	124.3%
	延べ人数	人	1,484	1,689	2,740	133.3%
	1回平均稼働率	人	7.3	7.0	10.0	10.2
	%	—	—	—	51.2	—

◎ 親子通園部全体(児童発達支援)

(年齢は平成25年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	湖西市	豊橋市
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	25	23	5	8	7	34	5	9	6	1	0	0	1
年齢別	～2歳	2歳	3歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)		性別	男		女	合計	
	0	13	21	22	31	37	0		84	40	124		
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし								
	9	44	0	0	71								

「ひまわり」親子通園部利用児(障がい別)



グループ名	区	グループ構成
ひつじ(2)	併行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
くじら(4)		幼稚園・保育園に就園中の年中・年長児で、発達に偏りを伴う児のグループ
すくすく(1)	併行通園以外のグループ	染色体疾患があり、年度中に2歳になる児のグループ
こぐま(1)		染色体疾患や運動発達の遅れがあり、年度中に3歳になる児のグループ
しろくま(1)		安定した歩行ができ、染色体疾患等なんらかの基礎疾患を持つ年度中に3歳になる児のグループ

※グループ名隣の()はグループ数

○ グループ参加児の就園先状況

		幼稚園		保育園		療育機関		その他	合計
		公立	私立	公立	私立	ひまわり	その他		
達児 児童 支援 発	すくすく	0	0	0	0	0	0	0	0
	こぐま	1	2	0	0	3	8	0	14
	しろくま	3	4	1	3	3	1	0	15
計		4	6	1	3	6	9	0	29

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	契 約 者 数	人	—	—	—	104	—
	実 施 回 数	回	—	—	—	134	—
	延 べ 人 数	人	—	—	—	134	—

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	湖西市	豊橋市
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	22	14	11	6	3	28	9	7	2	1	1	0	0
年齢別	～2歳	2歳	3歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性 別	男		女		合 計
	1	1	1	24	32	33	12		78		26		
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし								
	7	41	0	0	56								

○ 訪問支援先の内訳

訪問先	幼 稚 園		保 育 園		認定 子ども 園	児童発達支 援事業所	小学校	特別支援 学校			合 計
	公 立	私 立	公 立	私 立							
親子通園部利用児	32	28	7	11	1	0	0	0	0	0	79
そ の 他	5	2	1	4	0	1	6	6	0	0	25
計	37	30	8	15	1	1	6	6	0	0	104

障害者自立支援法及び児童福祉法の改正に伴い、4月より児童デイサービス事業から児童福祉施設の児童発達支援センターとして、児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業を実施しました。

療育センターで実施していた就園・就学前の療育グループを「ひまわり」の事業に移行し、定員を60人から80人に増員し、従来の通園事業を「毎日通園部」、療育グループを「親子通園部」として事業を開始しました。

《毎日通園部》

新園舎が完成し、4月より85人(きらきら58人、ぽかぽか27人)でスタートしました。重症心身障がい児(重心)へのサービス提供については、「ぽかぽか」内に重心クラスを設置し、リハビリのスタッフと看護師が支援計画書に基づき、きめ細やかなケアを行いました。来年度に向けて、リハビリスタッフとの連携のもと、個別の課題設定と成果をあげられるよう取り組んでいきます。

10月19日(金)、20日(土)にはセンターでお泊り保育を実施し、親から離れて職員と友達と一緒にセンターで宿泊し、外食体験や夕食作り、夕食後・朝食後のイベント等を体験したことは、園児ばかりでなく保護者に対しても良い経験となりました。

また、保護者と職員の研修の一環として、東日本大震災を経験された方をお招きしての講演会を開催し、防災について考える良い機会となりました。

昨年度までは、自主事業として実施していた夏休み事業(すずらん)は、浜松市の日中一時支援事業として受託をし、特に肢体不自由児の学童を対象として事業を実施しました。

《親子通園部》

親子通園部においては、幼稚園・保育園との併行する児のグループ療育と基礎疾患をもつ就園前の児のグループ療育により親子への支援を行いました。

《保育者等訪問支援事業》

「保育所等訪問支援事業」では、主に親子通園部(併行通園グループ)の利用児が通園している園に出向き、園での生活のアドバイスをしました。それにより、園での安定した生活につながることができ、今後とも必要性が高くなると思われます。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

5 生活介護・就労継続支援施設「かがやき」

【根拠法令等：障害者自立支援法第5条第7項・15項】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	事業所管理者	サービス管理責任者	計
生活介護（パステル）	40	5:1	5:1	9	1	1	11
就労継続支援（グリーン）	10	7.5:1	6:1	2	生活介護と兼務	生活介護と兼務	2
合計	50	—	—	11	1	1	13

◇ 平成24年度障害福祉サービス等の報酬改定による収入構造の変化(障がい者)

※以下、「はばたき」「ふれんず」も同様

平成23年度		平成24年度	
勘定科目	内容	勘定科目	内容
自立支援費等収入(利用料金)	基本報酬	自立支援費等収入(利用料金)	基本報酬
	各種加算		各種加算
	給食費		送迎加算
	福祉・介護職員処遇改善加算		
	給食費		
補助事業等収入	通所サービス利用促進事業補助金 福祉・介護人材処遇改善事業		

新設

新設

《生活介護（パステル）》

項目	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	236	239	243	243	101.7%
	契約者数	人	43	44	47	48	109.1%
	延べ人数	人	9,193	9,121	9,808	10,052	110.2%
	1日平均	人	39.0	38.2	40.4	41.4	—
	稼働率	%	97.4	95.4	100.9	103.4	108.4%
利用料金（自立支援費等収入）	円	73,930,170	73,218,010	85,593,000	85,184,168	116.3%	

○「生活介護（パステル）」利用者の状況(平成25年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市			合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
年齢別	15	15	5	3	4	5	0	性別	男	女	48	
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上		31	17		
障害程度区分別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6						
	0	0	9	20	12	7						
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	6	2	1	1	0	41	7	1	0	0	11	0

《就労継続支援（グリーン）》

項目	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	236	239	243	243	101.7%
	契約者数	人	11	11	11	11	100.0%
	延べ人数	人	2,473	2,465	2,537	2,581	104.7%
	1日平均	人	10.5	10.3	10.4	10.6	—
	稼働率	%	104.8	103.1	104.4	106.2	103.0%
利用料金（自立支援費等収入）	円	15,299,830	17,017,940	17,042,000	18,249,331	107.2%	

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

○「就労継続支援(グリーン)」利用者の状況(平成24年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	2	5	1	0	1	2	0				11	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上					
	0	2	7	2	0	0	0	5	6			
障害程度区分別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分未判定					
	0	7	4	0	0	0	0					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	0

《生活介護》

平成24年度は、特別支援学校高等部卒業生2名、他事業所の利用が困難となり移行してきた2名の計4名の新規利用者を受け入れ、スタートしました。また、平成25年3月には、在宅生活が困難な特別支援学校高等部の卒業生を卒業式後早期受け入れをしました。契約者数の増加にともない、延べ利用人数・稼働率ともに前年度より大きく増加しています。

その他、アートプロジェクトを継続し、「利用者の持つ魅力の外部への発信」をコンセプトに、利用者の作品を生かした商品開発に取り組むとともに、浜松市美術館での「アール・ブリュット展」開催期間中の販売や天竜厚生会みのりショップでの常設販売、障害者週間啓発イベント「スマイルフェスタはままつ」で利用者とともに販売参加、センター内で「キラキラマーケット」を定期開催する等販路拡大に取り組みました。また、9月にはギャラリー60(天竜区)において「第2回かがやききらきらアート展」を開催し利用者作品の展示を行いました。

《就労継続支援》

4月より他事業所への通所が困難となり移行してきた新規利用者を受け入れ、スタートしました。作業能力が向上し、就労意欲がある利用者について就労支援を実施しました。就労支援A型事業所での実習や企業実習を実施し、6月に利用者1名が企業でパート採用され、就労に向け、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターやジョブコーチ等関係機関と関係者会議等を開催するとともに採用企業とも話し合いを重ね、就労後のアフターフォローも含め、就労定着支援を行いました。

《「かがやき」で製品化した商品の一例》



マウスパット



エコバック他



ポストカード

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

6 就労継続支援施設「はばたき」

【根拠法令等: 障害者自立支援法第5条第15項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	事業所管理者	サービス管理責任者	計
20	7.5:1	6:1	3	「かがやき」と兼務	1	4

項 目		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画	平成24年度実績	対前年度比
施設利用状況	開所日数	日	236	239	243	243	101.7%
	契約者数	人	24	24	27	23	95.8%
	延べ人数	人	3,874	3,745	4,530	3,918	104.6%
	1日平均	人	16.4	15.7	18.6	16.1	—
	稼働率	%	82.1	78.3	93.2	80.6	102.9%
利用料金（自立支援費等収入）		円	27,627,320	29,709,940	37,491,000	33,675,586	113.3%

○利用者の状況(平成25年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	3	5	3	5	0	7	0				23	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上		12	11		
	2	3	8	8	1	1	0					
障害程度区分別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分未判定					
	0	0	6	1	3	1	12					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	11	9	0	1	1	0	3	0	1	0		

平成24年度は、特別支援学校高等部卒業生2名、就労移行支援事業所からの移行利用者1名の計3名の新規利用者を受け入れ、スタートしました。しかし、8月に介護保険事業所への移行のため1名、11月に就職による退所者が1名あり、利用率は計画値を下回りました。

生産活動では、軒花の売上を前年度より約4,000本伸ばし、仕入れ販売で売上げ目標を上まわり、前年度同様(目標工賃達成加算対象)の工賃支給をすることができました。はばたき市場では、「東北応援フェア」として、東北地方の就労継続支援施設の製品(かりんとう、あぶら麩等)を仕入れ販売を行うとともに、3月には、通常の野菜・卵・クッキー等の販売に加え、近隣農家のいちご、玉葱や市内福祉施設の製品(生キャラメル、冷凍カレー、冷凍餃子等)を仕入れ「はばたき大市場」を開催し、多くのお客様で賑わいました。

就労支援としては、一般就労を希望する利用者について、就労相談を行い、ハローワーク浜松主催の障害者就職面接会の情報提供や一般就労にともなう支援制度の説明及び就労関係機関との連絡調整を行いました。その結果、11月に、1名が一般就労しました。

また、発達障がい者や精神障がい者の受入りの環境整備として、職員を関係する研修に派遣し専門知識の向上に努めるとともに、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センターとの連携を深め、知的、発達障害者の見学や体験利用等の受入りを積極的に行い、平成25年度の新規契約5名に結びました。



喫茶「わいわい」
(ワッフルフェアにて)

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

7 障害者生活介護施設「ふれんず」

【根拠法令等:障害者自立支援法第5条第7項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	事業所管理者	サービス管理責任者	計
20	3:1	1.7:1	13	兼務	1	14

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
施設利用状況	開所日数	日	236	240	243	243	101.3%
	契約者数	人	25	29	29	29	100.0%
	延べ人数	人	4,608	4,759	5,005	5,060	106.3%
	1日平均	人	19.5	19.8	20.6	20.8	—
	稼働率	%	97.6	99.1	103.0	104.1	105.0%
利用料金（自立支援費等収入）		円	62,580,120	67,595,020	75,646,000	78,052,582	115.5%

○利用者の状況(平成25年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	5	10	2	6	2	3	1				29	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上		15	14		
	1	13	14	1	0	0	0					
障害程度 区分別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6						
	0	0	2	1	3	23						
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	22	5	1	0	0	24	0	0	0	0	23	0

利用者の障がいの重度化が進んでおり、障害程度区分6の利用者が前年度より5人増加し、利用者に占める割合が8割と前年度と比較して17%増加しています。また、医療的ケアが必要な利用者も1名増え11名となりました。それに伴い、介護職員によるたんの吸引等の実施のための研修に支援員1名が受講し、認定特定行為業務従事者認定証の交付を受け、利用者への医療的ケアの実施を開始しました。

利用者の身体機能の維持、筋緊張の緩和、安楽な姿勢保持を目指し、理学療法士との連携による個々の利用者に合わせて機能訓練を実施しました。また、心地良い感覚刺激の提供のためにスヌーズレンを新たに導入し、光刺激を目で追ったり、笑顔が増加する効果があらわれています。

平成24年度は、日中活動の充実を目指し、前年度より社会体験の回数を拡充し、新たに喫茶店などの外出体験を実施しました。また、家族からの要望もあり、医療的ケアの多いグループの外出を家族交流会として実施しました。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

8 地域活動支援センター「オルゴール」

【根拠法令等:障害者自立支援法第77条第4項、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業実施要綱】

定員	所定配置基準	職員配置数	事業所管理者	計
15	要綱による	5	1	6

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
施 設 利 用 状 況	実 施 日 数	日	242	239	243	243	101.7%
	契 約 者 数	人	69	70	69	74	105.7%
	延 べ 人 数	人	3,308	3,401	3,571	3,582	105.3%
	1 日 平 均	人	13.7	14.2	14.7	14.7	—
	稼 働 率	%	91.1	94.9	98.0	98.3	103.6%
利用料金（補助事業等収入）		円	17,405,700	17,889,600	18,113,000	18,668,800	104.4%

○利用者の状況(平成25年3月31日現在)

地 域 別	浜松市							磐田市			合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	27	20	4	4	1	15	0	3			74	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性 別	男	女		
	0	8	8	6	9	11	32	3	47			
障 害 程 度 区 分 別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分 未判定					
	0	3	6	3	3	5	54					
手 帳 所 持 別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級	0	0
	34	26	7	2	4	1	0	0	0	0	0	0

平成24年度は、新たに8名の方が利用開始となりました。中学卒業後からずっと在宅で過ごしてきた方、就労継続支援A型施設で調子をくずされた方、浜松へ転入されてきた方等どこかで何かしたいという活動場所としてご利用いただいています。

今年度は小学生との福祉交流会を浜松市立笠井小学校・豊西小学校の2校で行いました。小グループに分かれてのディスカッションの後、児童が企画したゲームに利用者が参加する等有意義な会を開催することができました。

また、65歳以上の方々についても介護保険制度に無いサービス内容として「オルゴール」の利用が継続されています。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

9 身体障害者福祉センター

【根拠法令等:身体障害者福祉法第31条】

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
趣味余暇活動としての講座	開催回数	回	221	205	211	207	101.0%
	延べ人数	人	2,178	1,954	2,417	1,923	98.4%
	1回平均	人	9.9	9.5	11.5	9.3	—
レクリエーションのための 便宜の供与	実施回数	回	50	55	36	55	100.0%
	延べ人数	人	536	644	480	683	106.1%
	1回平均	人	10.7	11.7	13.3	12.4	—

9月27日、28日には、**全国障害者福祉センターの主催による「障害者福祉センター管理運営研修会」を浜松市で初めて開催しました。**初日は、アクティビティ浜松を会場に厚生労働省の行政説明や分科会の開催、2日目は発達医療総合福祉センターを会場に活発な意見交換会や施設利用者の見学を実施しました。講座については、「デジカメ写真講座」を新たに開催し、初めての利用者2名を含む20名の参加がありました。なお、24年度講座全体の新規利用者は、13名でした。

10 障害者体育館・プール

※ 利用者数には介助者を含みます。

※ 一般開放・団体貸出しは土曜・日曜の利用を含みます。

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
体 育 館	センター内利用	利用日数	日	212	243	200	190	78.2%
		利用者数	人	5,921	5,976	5,600	6,270	104.9%
		1日平均	人	27.9	24.6	28.0	33.0	—
	一般開放	利用日数	日	46	54	55	48	88.9%
		利用者数	人	1,149	1,206	1,200	1,407	116.7%
		1日平均	人	25.0	22.3	21.8	29.3	—
	団体貸出	利用日数	日	40	145	120	159	109.7%
		利用者数	人	1,261	5,970	5,800	7,092	118.8%
		1日平均	人	31.5	41.2	48.3	44.6	—
体育館合計		利用者数	人	8,331	13,152	12,600	14,769	112.3%
プ ー ル	センター内利用	利用日数	日	98	111	100	107	96.4%
		利用者数	人	1,937	2,331	2,100	2,083	89.4%
		1日平均	人	19.8	21.0	21.0	19.5	—
	一般開放	利用日数	日	168	188	168	163	86.7%
		利用者数	人	2,133	2,020	2,100	1,869	92.5%
		1日平均	人	12.7	10.7	12.5	11.5	—
	団体貸出	利用日数	日	116	119	110	148	124.4%
		利用者数	人	1,065	1,003	1,000	1,389	138.5%
		1日平均	人	9.2	8.4	9.1	9.4	—
プール合計		利用者数	人	5,135	5,354	5,200	5,341	99.8%

体育館・温水プールは、センターの各施設での利用、在宅の障害児者への開放、障害児者団体への貸出を行っています。このうち、センター各施設の利用と一般開放については、天候の影響による利用増減程度で概ね前年度並で推移しています。体育館及びプールの団体貸出しについては、現在それぞれ10団体が利用していて、そのうち、4団体が定期的に利用されています。体育館の利用増については、7～9月の毎週金曜日夜間に貸出を行ったことと、浜北区社会福祉協議会主催のイベントが開かれたことによるものです。また、プールの利用者の増加については、昨年度は数回利用のみの団体が、ほぼ毎週土曜日利用になったことが主な要因です。

平成24年度 事業実績

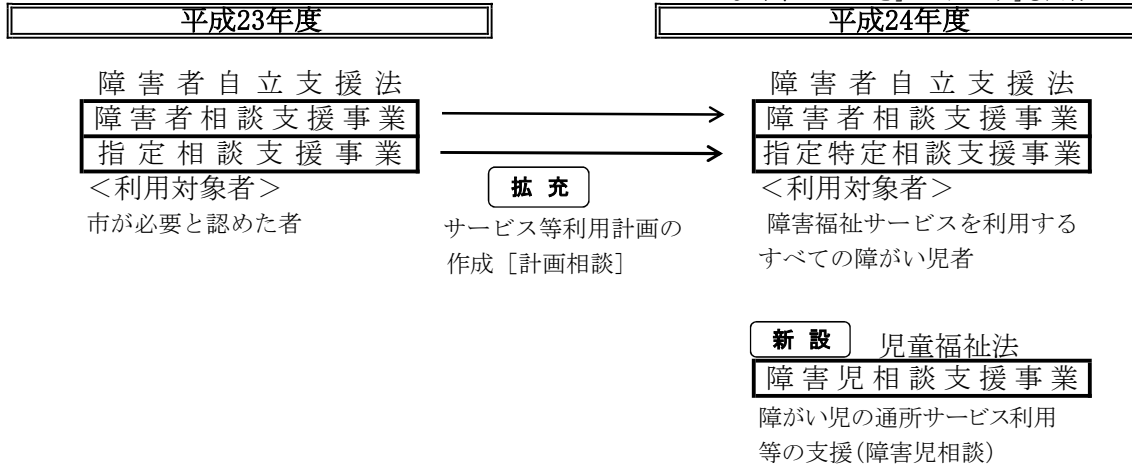
平成24年4月1日～平成25年3月31日

11 相談支援事業所「シグナル」

【根拠法令等：障害者自立支援法第51条第16項、第77条第1項、児童福祉法第24条の28、浜松市障害者相談支援事業実施要綱】

◇ 平成24年度4月障害者自立支援法、児童福祉法の改正に伴う事業の拡充

※以下、「はばたき」「ふれんず」も同様



項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
障害者 相談 支援 事業	障害者相談支援事業 (うち専門的な知識を必要とする困難ケース対応)	件	2,671	2,156	2,640	3,554	164.8%
		件	(656)	(849)	(660)	(847)	99.8%
	障害福祉サービス等への専門的指導・助言	件	60	60	50	86	143.3%
	関係機関面談及び訪問	件	175	137	96	111	81.0%
	住宅入居等支援事業	件	0	0	数件	0	—
	成年後見制度利用支援	件	0	0	数件	0	—
その他	相談支援事業所間の連絡調整	件	65	43	35	45	104.7%
	インターク面接(友愛のさと診療所初診時間診)	件	652	734	650	584	79.6%
	園・学校訪問等訪問支援	件	—	15	100	130	866.7%
	自主事業「啓発事業」	件	1	1	2	1	100.0%
指定特定相談支援事業		件	0	0	数件	64	—
指定特定相談支援に係る連絡調整等		件	—	—	—	54	—
障害児相談支援事業		件	—	—	60	412	—
指定特定相談支援に係る連絡調整等		件	—	—	—	1,405	—

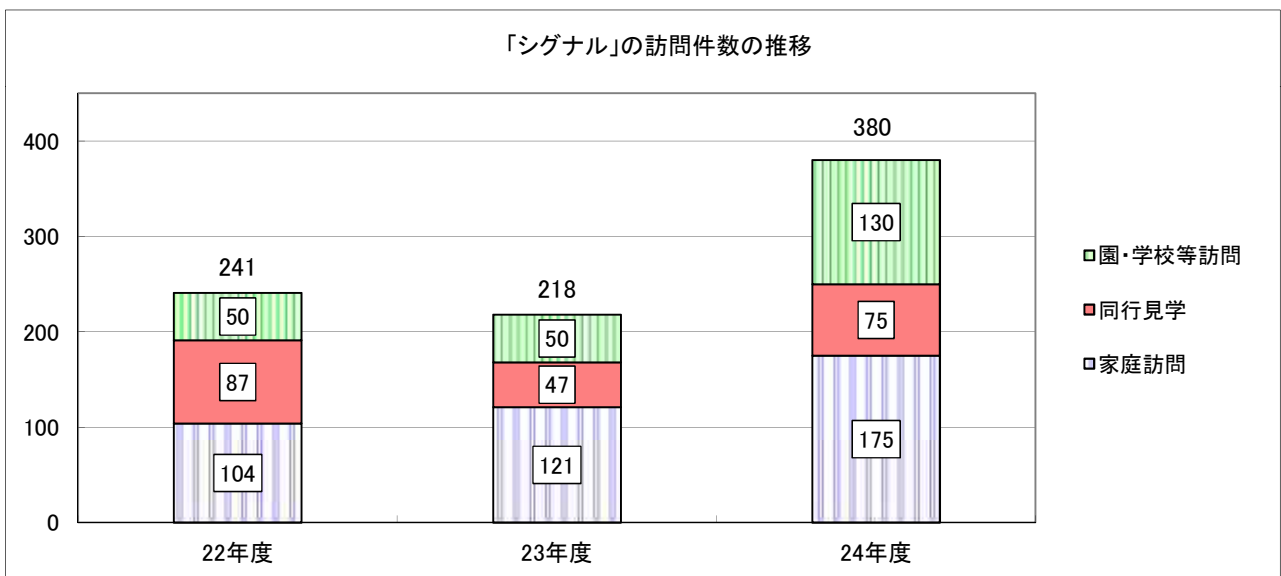
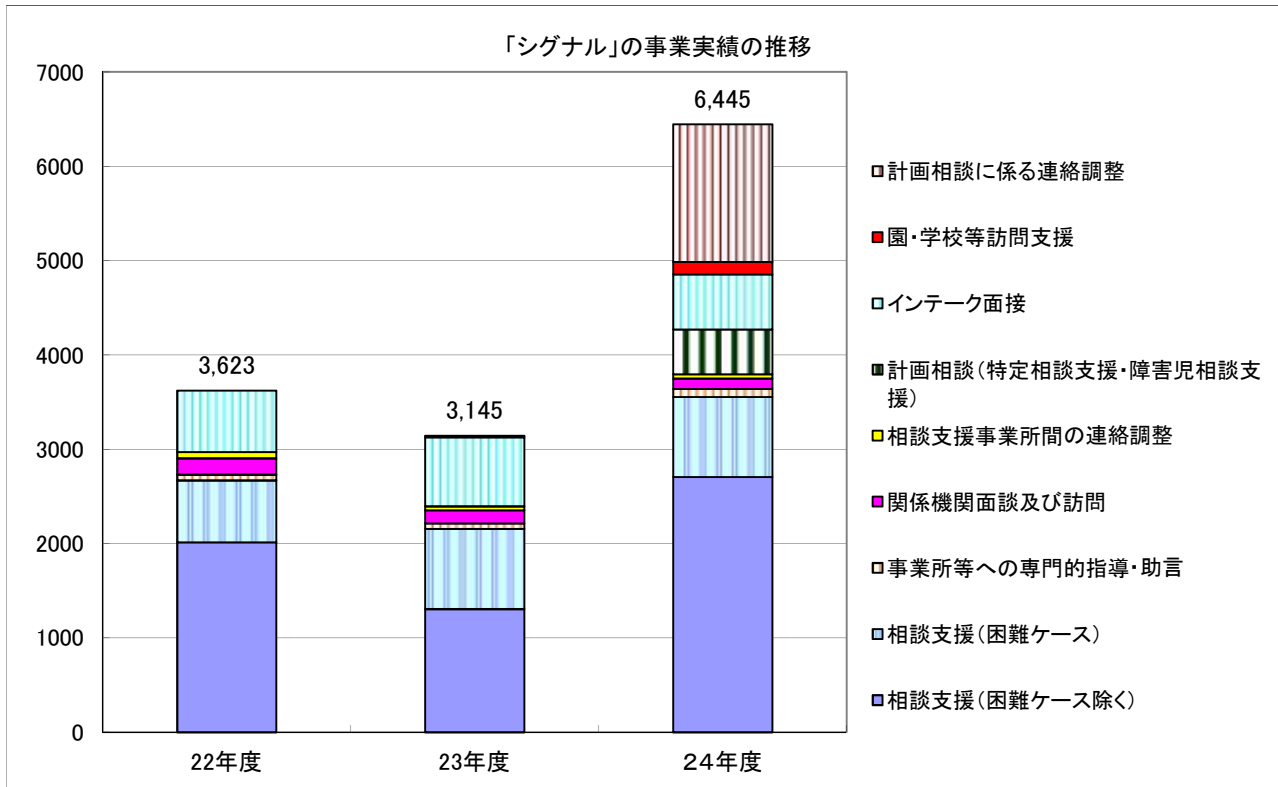
シグナルは、相談支援事業所の機能と友愛のさと診療所の医療相談室としての機能を併せ持っています。平成24年度は、指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業が新たに追加され、サービス利用計画作成は、当初の見込み件数の2倍以上の実績となりました。

また、園・学校訪問支援(びよこたん)を自主事業として本格実施した他、教育委員会からの依頼により発達支援教育研修として指定園・校へ継続的に訪問支援を実施しました。

また、重症心身障がい児(者)への在宅支援のため教育・行政の関係者とのネットワークの構築や重症心身障がい児(者)が安全かつ安心して在宅で生活を送ることが出来ることを目的にした会議を開催しました。その結果、昨年度よりNICU退院児支援の場へ参加を要請されることが増えてきました。

平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日



平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

12 発達相談支援センター「ルピロ」

【根拠法令等：発達障害者支援法第14条、浜松市発達障害者支援センター事業実施要綱】

項目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比
相談事業 (相談支援・発達支援・就労支援)		支援件数	1,644	1,806	1,430	2,652	146.8%
普及啓発 研修事業	研修講師派遣	実施回数	45	60	20	23	38.3%
	保健師研修	実施回数	1	1	1	1	100.0%
	保育者研修	実施回数	2	2	2	3	150.0%
	就労支援者向け研修	実施回数	—	—	2	5	—
	支援者向け研修	実施回数	—	—	2	5	—
	教員向け研修	実施回数	—	—	4	9	—
	外国人指導者向け研修	実施回数	—	—	5	5	—
関係機関 との連携	連絡協議会の開催	実施回数	1	2	2	2	100.0%
	連絡協議会の参加	実施回数	4	4	5	5	125.0%
	調整会議等への参加	実施回数	37	54	20	52	96.3%
	幼稚園・保育所への訪問	実施回数	138	131	100	166	126.7%
個別支援の調整会議	支援件数	1	0	2	0	—	
個別の支援計画書作成	支援件数	156	213	80	291	136.6%	
個別支援の事例検討会 (外部機関)	支援件数	6	6	7	7	116.7%	
発達支援広場への技術支援	実施回数	176	165	168	169	102.4%	

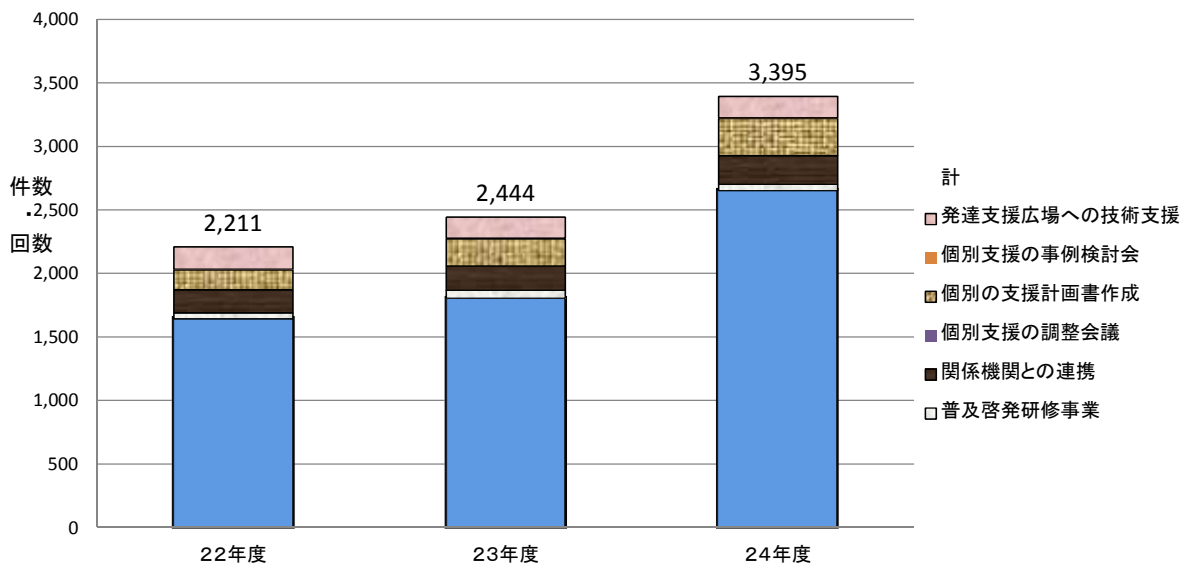
平成24年度は、相談支援件数が大きく伸びていますが、利用者のニーズに対応するために、相談事業の予約枠を増加したことによるものです。

保育者研修については、内容を見直し、座学中心から実習を中心としたより効果的な研修を行いました。また、浜松市教育センター事業とのタイアップにより、幼稚園、小中学校の発達支援コーディネーターに対して研修を行い、人材育成の支援を行いました。

その他、園支援に充てる時間数を増やし、巡回支援事業の拡充を行いました。

ルピロの事業は概ね浜松市民のニーズに答えているものと思われませんが、各種の支援に待機が生じています。今後の課題としては、支援の質を落とすことなく頻度を上げていくことであり、スタッフの能力向上など、より効率的な事業展開を図ってまいります。

「ルピロ」の事業実績の推移



平成24年度 事業実績

平成24年4月1日～平成25年3月31日

13 浜松市発達支援広場事業「たんぼぼ広場」

【根拠法令等：浜松市発達支援広場事業実施要綱】

項 目		単位	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	対前年度比	
セ ン 北 タ 保 健	発達支援広場	開催回数	回	40	40	40	40	100.0%
		参加組数	組	55	70	—	63	90.0%
		延べ参加組数	組	560	821	—	754	91.8%
		延べ人数	人	1,178	1,678	—	1,574	93.8%
		1回平均	組	14.0	20.5	—	18.9	92.2%
	医師相談	実施人数	人	24	30	—	25	83.3%
	心理相談	実施人数	人	24	27	—	30	111.1%
セ 中 央 保 健 福 祉	発達支援広場	開催回数	回	40	39	40	40	102.6%
		参加組数	組	62	93	—	75	80.6%
		延べ参加組数	組	583	811	—	703	86.7%
		延べ人数	人	1,175	1,626	—	1,419	87.3%
		1回平均	組	14.6	20.8	—	17.6	84.6%
	医師相談	実施人数	人	27	38	—	39	102.6%
	心理相談	実施人数	人	36	36	—	30	83.3%
発達支援広場 (施設型)		開催回数	回	—	364	240	266	73.1%
		参加組数	組	—	173	—	164	94.8%
		延べ参加組数	組	—	3,484	3,600	2,886	82.8%
		1回平均	組	—	9.6	15.0	10.8	112.8%

浜松市発達支援広場事業「たんぼぼ広場」は現在市内7会場で開催されており、浜北保健センター（浜北区）及び中央保健福祉センター（中区）の2会場を受託しています。発達支援広場事業（たんぼぼ広場）は、昨年度と比較して参加人数が若干減少しています。これは、参加者が安全で充実した広場をご利用いただくために、1回の適正参加人数を配慮しながら発達支援広場を運営したことが影響しています。

また、発達医療総合福祉センターで開催している「施設型」については、今年度は市の仕様に沿った回数（年間30回）で開催したこともあり、開催回数と延べ参加組数は減少していますが、1回平均の参加組数は増加しています。